

屋根裏日記

あきゆおす

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

序盤のあの出来事が起こる前にうまいこと噛み合ったペルソナ5のお話。

※志帆ちゃんを救済してコープ結びたかった…という願望のもと書いたものです。
テンション（酒）で書いた乱文+ご都合展開ですのでご注意ください。

目次

	4月・その1	1
	4月・その2	6
	4月・その3	12
	5月・その1	15
	コープランク1〜2	18
	コープランク3〜6	22
	ランクアップが起こらない時の話・怪盗団編	26
別冊		
31	△月○日〜（原宿在住の銀髪）	

〜月〜日〜（東京在住のウサミミたち）

4月・その1

4月10日日曜日（曇）

昨日からお世話になっている人：佐倉さんから日々の記録をつけておけとのことなので、つけておく。

冤罪でこっちに通うことになり、今日は通う秀尽高校の手続きをしに行った。ハゲは許さない。

手続したときに居心地がかなり悪かった。校長と担任になる先生にあつたが、隠す気もなくめんどくさそうにしていた。教師とは一体……。コレもハゲのせいだ。

帰り道は電車の事故が起こったらしく、かなり混んでいた。後からニュースを見たら負傷者が多数出ているらしい。コレもは……。いやさすがに言いすぎか。

寝る前に気づいたけれど昨日消したはずのアプリが復活していた。なんでだ……。

4月11日月曜日（曇のち雨）

学校に行こうとしたら化け物がある城についた。何を言ってるかわからぬー（ry
途中で出会った坂本の後ろを歩いて行ったら、本来なら学校のある位置に城がそびえ

立っていた。

時々なんかぼーと学校が見えたけど、それも関係しているのか？

そしたら鎧兵に囲まれたと思ったらボコボコにされて牢屋に突っ込まれてた。許さ
んぞハゲえ！

すったもんだあつて鴨志田とかいうモジャモジャにボコボコにされたが、なんかペル
ソナとかいう超能力に目覚め、服装も変わっていました。ナニソレイミワカンナイ

そのペルソナ：本人曰くアルサーヌの力を借りて鎧兵から変化したカボチャを倒し
て、全力で逃げた。途中で喋る猫：？のモルガナの力を借りて何とか脱出したら、午前
が終わってた。：うん、転校初日早々やらかした。

午後の授業から出たけど、まーいつの間にか噂があることないこと広まってる広まっ
てる。誰だ流したの。

散々な一日だったけど一つだけよかったことが、坂本と知り合えたことだ。問題児言
われてるけどいい奴だった。

そういえば朝会った女の子が自分の前の席だった。綺麗な金髪だったなー。

4月12日火曜日（雨）

前に見た変な夢をもう一度見たので忘れない内に書いておく。長い鼻のおっさんと
双子のロリに囚人として扱われる夢だ。更生がなんとかかパレスがなんとか言っ

たけど、なんだったんだあれ…。

今日は普通に学校にたどり着いた。ただ、鴨志田が昨日の女の子にないこと吹き込んでいた。今度から奴のことをクソモジャと呼ぼう。

放課後は昨日の城を探したが何度やってもたどりつけなかった。けど、一昨日から消えないアプリをつけたら行けた。ナビアプリっぽいけどどうなったんのこのアプリ!?

城ではモルガナと合流したり、竜司がペルソナを使えるようになってたりといろいろあった。城を脱出した後は牛丼屋でグダグダ。お互いに大変ということを話題に盛り上がった。ただし牛丼をシヨウガ丼にしたのは許さん。

4月13日水曜日（晴れ）

昨日もまた夢を見た。絆がどうか契約がどうか言ってたけどつまりは協力をを
探せとのこと。…協力者ねえ。

学校は球技大会でクソモジャが張り切りすぎてスパイクで生徒を倒していた。ほかに気づかれない範囲で鼻で笑ってたのがかなり不愉快だった。

途中から鴨志田の体罰の調査をしたけど鴨志田の権力や自分の前科のことであつて

か証言を断られた。ガツデム！しかも周りのうわさがどんどん広まつてる。クソモジヤの野郎……。ただ、クラスの前の席の人——高巻さんとその友人が心配してくれてた。ほんまええ娘らやで……。しかも高巻さんは忠告しに来てくれた。：なんか事情がありそうだな。

そのあと、バレエ部の三島に証言を頼んだけどクソモジヤに見つかって阻止された。いや、あれは見つかろうがそうじゃなからうが断られてた。学校ぐるみで隠蔽かよ……。

4月14日木曜日（晴れ）

鴨志田の野郎、鈴井さんを食おうとしやがった。

モルガナからのいろいろ話を聞いて鴨志田のパレスをどうしようかと思いつきながら帰っていたら、鴨志田からの電話を受けていた高巻さんに会った。ビッグバンパーガーで話を聞いたなら、鈴井さんのために鴨志田のいうことを聞いていたが、とうとう手を出そうとしてきたらしく、それを断つたらしい。

その話が話せてすつきりした高巻さんと別れた後、断られた鴨志田にいやな予感を感じて学校に戻った。まだ学校に残っていた竜司とまた話を聞きこまれていた三島と合流して体育教官室にいくと野郎、襲い掛かっていやがった。何とか間に割って入ったけど、そのことに激怒した鴨志田が退学にしてやると脅してきた。ガン無視して鈴井さん

を連れ出し、家を聞き出して連れて帰った。

い。もう覚悟は決めた。あの野郎をそのまましておく、高巻さんと鈴木さんが危な

4月・その2

4月15日金曜日（曇り）

今日はいろいろありすぎたので順番立てて書いていく。

朝学校に行くと、さっそく自分らの退学のうわさが広まっていた。しかも鈴井さんを襲ったのも自分といううわさもセットで。さらに鈴井さんは昨日のことでもあつてか休みだとか。そのせいか当事者の竜司、三島、あと高巻さん以外からは射殺するような視線を向けられた。俺は悪くねえ！

昼に竜司と話したが、イライラが最高潮に達していたせいか今にも体育教室に殴り込みに行きそうだったので説得してなんとか押さえた。今行つてもあいつの目論見通りになつてしまうし。そのとき、三島が来て知っていることを話してくれた。：脅されていたし、牛井一ヶ月分で水に流す。

放課後に自販機前で竜司、モルガナと改めて鴨志田の歪んだ欲望を奪う決意を固めた。しっかしぶつつけ本番とは…。その時、高巻さんが退学のことを聞いてか声をかけてきた。昨日の事情は鈴井さんから聞いたらしい。その事で鴨志田をやるなら混ぜろと言つてきた。気持ちは分からなくもないけど、そのときはまだペルソナ使えなかつた

ので竜司の迫力のあるニラミで追い返した。巻き込むわけにはいけなかったしね。

パレスに潜入したら、ナビに巻き込まれた高卷さんが。速攻で追い出したけど、高卷さんのスマホにもナビが入ったので再来城したらしい。で、いつの間にかシャドウ鴨志田に拷問部屋へと連れてかれた。すぐに助けに入ったけど高卷さん人質に取られて動けないところに高卷さんがベルソナ覚醒。：そのあと、ボンテージに恥じらう高卷さんにうっかり萌えてしまったのは内緒だ。燃やされたくない。

動けなくなつた高卷さんを連れてパレスから脱出し、高卷さん：杏も一緒に行くことになつた。決意を新たにして帰つてく杏を見送ると、モルガナが惚れたらしくべた褒めしてた。そして流れでモルガナをうちで見ることになつた。

店に帰ると。パンクな恰好をしたダルそうな美人さんが。佐倉さん曰く、医者なんだとか。周辺からは適当な噂をたてられているとか。あとモルガナを飼う許可ももらつた。最初渋っていた割にはすぐモルガナのご飯を持ってきてくれた。なんだかんだで面倒見がいいんだらうな。そのあとはモルガナの胸中を聞いたり、お世話の代わりに潜入道具の作り方を教えてもらおうという取引をしたり。あと、杏からお礼のチャットが。

そういうば、パレスの奥に行く最中、シャドウ：ピクシーと会話したら仮面になつてくれた。なんでか知らないけど、複数のベルソナが使えるらしい。普通は一人一体なんだとか。

4月16日土曜日（晴れ）

昨日決まったアジト：学校の屋上に集まって早速パレスを攻略しようと思ったが、モルガナからまずは準備を整えた方がいいとのアドバイス。装備と薬の調達をすることにして、今日は別れた。

薬については昨日の医者を訪ねることになった。頼み込んでなんとか薬を処方してもらえることに。ただし、配合はオリジナル、使用は自己責任で、だそうな。助かる。出ようとしたときスーツの人となんか言い争いが起きた。詳しくは分からなかったけどその中で先生の名前が聞こえた。武見妙：パンクな恰好に反してなかなか古風な名前だ。

そのあと、竜司から連絡がきて、明日モデルガンの店に行くことになった。杏は鈴井さんの見舞いに行くからいけないとのことだったので、合流してお見舞いの品を買うことに。…といっても果物の盛り合わせぐらいしか思いつかなかったけど。

夜に外に出ようと思ったけど、佐倉さんから釘刺されていたことを思い出し断念。鍵も開けっ放しにしないといけないし仕方ないか…。

4月17日日曜日（晴れ）

竜司とモデルガンの店に。途中、政治家のおっちゃんが演説していたけど、竜司にせかされて素通り。暇があるときに聞いてもいいかもしれない。

モデルガンの店は路地裏にあった。そして店長さんは無愛想だった。けど、なんだかんだでビギナー向けに見繕ってくれた。：部屋に戻ってみると、家からの荷物が届いて、その中かなり強そうな外見をした武器になりそうなもの数点と物騒な外見をしたモデルガン：だよな、これ？：数点があった。親に連絡すると、何も知らないとのこと。なにこれ怖い。

杏からの連絡で、鈴井さんの見舞いに行ってきたとのこと。精神的に滅入っていたのであまり長くは話せなかったけど、お見舞いを喜んでくれたらしい。果物も喜んでくれたとか。

4月18日月曜日（晴れ）

今日もいろいろなことが起きたので順番に書く。

朝から鴨志田が吐き気がするほどの薄い笑顔で校門であいさつしていた。返して横を通り過ぎようとする嫌味つたらしく口を開いたので無視して校舎に。

授業中、竜司から理事会は5月2日にあると伝えられた。それまでに片づけようといってたけど、今日片付けようと思う。

放課後、3人＋1匹で集まり、目標（オタカラを盗む）を確認した後、パレスへ。今回はオタカラまでの経路を確認する。今日一日で盗むまではさすがに無理か…。

ちなみに杏のコードネームはパンサーになりました。モナから女豹言われて照れるパンサー可愛かったです。

パレスに行こうとしたら牢獄の扉とともにジュステイヌが。話を要約するとペルソナ処刑——物騒だからペルソナ合体にしておく。——ペルソナ合体ができるようになったのと、囚人名簿——こつちも物騒だからペルソナ全書にしておく。——ペルソナ全書を見れるようになった。あと長つ鼻の人からはサードアイを教えてもらった。…とここでこの全書、なんか名前が全部埋まつてるんですが…。それを伝えると双子が混乱していた。あわあわしている双子を見てほっこりしていると2人からいらまれた。残念、それはご褒美だ。とりあえず、見つけた名前のペルソナを入手。外に出ると、みんなからは棒立ちしてるように見えてたらしい。

パレスに関しては昨日届いた武器や今日買ったペルソナのせいサクサク進んだから特に問題はなかった。…所々で鴨志田の考えが分かる仕掛けがあって、それで不愉快になった以外は。男子生徒、女子生徒に関してどう思っているかもわかった。鈴井さんに関しては相当固執してたような部屋もあった。

奥のオタカラの部屋まで行くともやもやしたものがあつたけど、これがオタカラらし

い。これを実体化させて盗む。実体化させるために予告状を出すとか本当に怪盗だな
∴。潜入ルートは確保できたので今日はこれで引き上げることに。決行はいつしよ
うか∴。

4月・その3

4月19日火曜日（晴れ）

放課後、アジトに行く前に図書室に寄って本を借りた。最初に発現したペルソナ：アルセーヌ関連についての本である。有名な孫とかヒロインな曾孫は知っているけど、本家本元を見たことなかったから。あと、図書室内の視線がなんというか、厄介者扱いが多分に含まれていた。図書委員の人もあまり来ないでほしいオーラを出していたし。まあ、本借りたからまた来るんだけどね。

アジトに着き話し合った結果、明日実行することになった。その前準備として予告状の作成をしようと思ったけど、竜司が作る気満々だったので止められなかった。竜司のセンスに任せるしかないけど…なーんか嫌な予感がする。

なんか落ち着かなくてふらふらしていたら、帰宅するころにはルブランの閉店間際だった。銭湯で風呂入ってすぐにベットに入る。モルガナも言っていたが明日は一発勝負。必ず、オタカラを盗み出す。

4月21日木曜日（晴れ）

昨日は疲れてすぐ寝たため、まとめて書く。

結果からいうと、オタカラを盗むのに成功した。

昨日の朝に学校の掲示板に張り出されていた予告状（要改善）に反応したのか、パレスに潜入するとすぐピリピリした雰囲気は漂っていた。ところどころで見つけたシヨートカットを使ったおかげでオタカラ部屋まですぐだったけど。

それでオタカラ、かなり大きな王冠を3人がかりで運んでいると、シャドウ鴨志田にバレてオタカラを取られ、戦闘になった。変身したシャドウ鴨志田はかなりキモいうえにイラつかせることばかり言ってきたので、速攻で片を付けた。牢獄：ベルベットルームで手に入れたペルソナ、強すぎやしないかな。かなりの値段したけど、正解だったな。

ポコポコにしたシャドウ鴨志田は改心したのか杏の言葉も受け入れ、きらきら光りながら消えていった。と同時にパレスが崩壊し始めた。急いで脱出すると、パレスの反応がアプリから消え、王冠もいつの間にか金メダルになっていた。

鴨志田がどうなったか確かめようがなかったので、その日は解散、疲れたからそのまま寝た。

今日、学校に行ってみると鴨志田は休みだった。自主的に自宅謹慎するって連絡があったと川上先生から聞いた。オタカラを盗ったことだなにかしらあった、のか？様子見。

やることもなくなったから、モルガナからの提案で武見先生の診療所へ。色々あったけど、治験を条件にお薬を融通してもらえることに。試されるために飲んだ薬はシユールストレミングの味でぶっ倒れて死ぬかと思っただけ。ただ、武見先生からは新薬を完成させたいという強い意志を感じたので、信頼はできる…はずだ。

ルブランに帰り着き、佐倉さんと軽く話をし、店の手伝いをする代わりにコーヒーの入れ方を教えてもらうことになった。

そのあとは軽く筋トレをして寝た。モルガナが疲れたから寝ようぜって言うてたけど、このくらいで高校生は疲れないんだけどね…。

5月・その1

5月2日月曜日（晴）

結論から言うのと改心は成功した。

連休前の全校集会のとき、生徒の前で鴨志田が泣きながら土下座し、自分のしてきたことを全部話した。暴言、バレー部のこと、鈴井さんにしやうとしたこと、などなど。いきなり暴露し始めたせいとか、呆気にとられる人、鴨志田サイテーと罵る人、様々だった。鴨志田が死んでわびると言ったが、杏に一喝され、きちんと罪を償うと。杏に、鈴井さんのポジションをダシに關係を迫っていたことも暴露。そして、教師をやめて、自首するから警察をよんでくれ、とわめていた。あまりの変わりように、俺と竜司は嬉しきよりも先に呆気にとられた。そのあと、全校集会は解散。そして、周りが噂していたのは怪盗のことだった。

そのあと、体育館の出口で3人で改心について話していると、三島と杏のことを誤解していた女子生徒たちが集まって杏に謝っていた。三島は俺の方にも謝ってきた。牛井奢らせてるからもういいんだけど…。

杏は噂が消えたことよりも鈴井さんのことを謝らせてやったことが嬉しかったらし

く、そのまま学校を抜け出して鈴井さんに伝えにいった。

放課後、アジトに集まると成功したことをみんなで喜びあった。ちようど杏も帰って来て、鈴井さんに報告できたことを喜んでいた。鴨志田に媚売っていたのはバレていたらしく、そのことについても謝られたけど、杏からも謝ったらしい。あと、鴨志田が謝った、自首すると聞いたことで踏ん切りがよかったらしく、来週あたりから登校するとか。転校しなくてよかった。そのあとは鴨志田の改心についてボチボチ。女の子って怖いな。

俺らについての噂が新しくなっていたらしい。これで汚名挽回だな！と思っていたけど、鴨志田を脅迫したって噂になった。なんでや！取りあえずは、落ち着いてから相談することに。

そして、打ち上げのためにオタカラの金メダルを売って、5日に杏が鈴井さんと行きたかったお店に行くことになった。換金は俺がすることに。…これ、買い取ってくれるかな？面子は3人に1匹、それと鈴井さんということだ。

ルブランに帰る途中、SNSで金メダルが本物かどうかについて話したあと、鈴井さんからチャットがあった。改めてお礼をしたいらしく、明日会うことになった。

5月3日火曜日（晴れ）

朝からニセ金メダルを売りに行こうとしたけど佐倉さんに捕まりルブランの手伝い。

鈴井さんと会う約束があるから今日は金メダルは売りに行けないな…。

昼、ルブランの手伝いを終わらせ、（佐倉さんから「女か？」とからかわれたが、意味深な笑みを返すと、「マジかよ…」と驚かれた。嘘は言っていない。）杏と一緒に鈴井さんと会った。ありがとうともいわれたけど、無茶をしないで、とも言われた。何のことだ？としらばつくれたけれど、先に鈴井さんが杏と話していた時に態度でバレバレだったらしい。もつとも、杏との長い付き合いだから分かったらしいけど。杏の方に目を向けるとさつと目を逸らされた。アン殿エ…。鈴井さんもそれ以上は聞いてこなかったけど、いつか怪盗についてばれそうな気が…。というかバレてるんじゃない？

そのあとは軽食を摘みながら話をした。と言つても、二人が話しているのに相づちを打つだけだったけど。しかし、話の方向性が違うのに二人とも相手の話を楽しそうに聞く。鴨志田の謝ったことをすぐ伝えにいったことといい、お互いに尊重しあつてるところといい、本当に仲いい。キマシ。思わずほほえましくなつてしまったので、緩んだ口元を隠すためにジュースを飲んだ。：しかし、この店、店長は怖いけど、食べ物美味しい。ただコーヒーがかなり高い。5000円って。

コーブルランク1～2

○月×日

メモントスから出たところを鈴井さんに見られてしまった。なにもない場所から出てきたのを見られて、ちよつと呆気にとられた後に絶叫しそうになったから杏が慌てて口をふさいだ。あちやー。

俺と杏の知り合いということで、他には帰ってもらい、近くの喫茶店で鈴井さんに2人で説明することになった。一応、竜司も顔見知りのはずだったんだけど、杏に耳打ちされて頷いて帰っていった。

説明が終わると、「危ないことはしないでっていったよね？」とむーとむくれながら言われた。可愛い。止める気はないということ伝えると、取引…というよりか手伝いを申し出てくれた。止めようとしたけれど、そこは杏の親友。折れなかつたので手伝ってもらうことになった。

何をしてもらおうかを考えたところ、鈴井さんがバレー部ということで、マッサージとかテーピングとかの体のケアの方法を教してもらうことになった。というわけで、教えてもらうときには体育館…は部活動生が使っているからセントラル街にあるジムに

行くことに。

んで、こつちで手伝えることを聞いたけど、なんとというか……これをする事自体が手伝いになるらしい。よくわからないけど、なにかを理解した杏も真剣な顔をして頼んできたので了承。俺と鈴井さん、杏の時間があうときにジムに行くことになった。

○月△日

時間が合うタイミングが出来たので早速3人でジムへ。自分たち以外にはちらほらとしかいなかった。

早速教えてもらう……わけではなく、筋トレとか少し動いてからケアの仕方を教えてもらうことになった。そっちの方が効果が分かりやすいし。

それでウォーミングアップをしていただけ。俺は当然ひとりとして、鈴井さんと杏は2人でウォーミングアップしているのを見ると、すごい癒された。仲のいい犬と猫がじゃれあつてるのを見た気分。あんまりジロジロ見るのも良くないんで、目をそらしながらウォーミングアップを再開した。

器具を使つて筋トレをしていると、鈴井さんからアドバイスをもらった。無理して筋肉を痛めないようにしたり、効果的な器具の扱い方だったり。家やひとりで筋トレする

よりも効果的に感じた。杏も鈴井さんにアドバイスをもらいながら体を動かしていた。ある程度体を動かしたあと、本題のケアの方に移った。今回は簡単な柔軟運動、それとマッサージの仕方を教えてもらった。

失敗だったのが、今回は実験d：マッサージする人がいなかったため、鈴井さんが杏にマッサージをするのを見るだけになってしまった。本人たちは真面目にやっていたから気付かなかつたけど、まあ、目のやり場に困った。分からなかったからもう一回頼むと言いたいようになったのは内緒だ。今度は誰か連れてこないといけない。

ジムを出た後はクレープを買って一息。杏はクリームを増し増しにするか悩んでいたけど、何とか誘惑に一旦は勝った。けど、その横では鈴井さんがクリームどころかオール増し増しにして、結局杏は誘惑に勝てず一口もらっていた。

クレープを噛み締めていると悪寒がしたので周りを見渡すと、路地の方から双子がガーン見していた。今度持つていくか。

追記

後日、扉の前で不機嫌そうに待っていた双子にクレープを渡すと、ジュステイヌは微笑みながらお礼を、カロリーヌは口調は変わらなかったが、いつもの飛び蹴りが両手で軽く押すだけになっていた。なんだかんだでやっぱり女の子なんだなーと微笑まし

く思っていると、顔に出ているのか、2人はいつもの調子に戻っていた。

ただ、2人からの取引で指定されたペルソナを作るのに加えて、お菓子を献上するのも追加されていた。ええ…。まあ、少しは心を開いてくれたとポジティブに解釈しておく。さすがに毎度毎度買っていくと金欠になりそうだから作れるようになりたい。今度行くときまでに、誰かにお菓子作りを教わるか…。

追記2

さすベキ

コーブランク3～6

×月○日

鈴井さんと杏とのジム通いも慣れ、ジムの後のクレープ屋さんでのこと。ゴシップ誌の記者っぽい人がいた。大宅さんとの雑談で記者の見分け方を聞いていたのとサードアイで感づけたのがよかった。もしかしたら普通に食べに来た人かもしれないけど会わないに越したことはないので、こそつと杏と鈴井さんに耳打ちして別の喫茶店へ。

喫茶店で鈴井さんの話を聞くと、どうやら鴨志田の件を追って、鈴井さんにインタビューをしようとしている記者がいるらしい。自宅にも押しかけているらしく、親が追っ払っても何度も来るらしい。

杏も初めて聞いたらしく、その記者に対して憤っていた。追っ払うのを手伝おうと思っただけ、心配しなくていいとのこと。迷惑をかけたくないと思っただけからというのが伝わってきたので、それ以上は何も言えなかった。

今度大宅さんに話して対策とか考えてみるか…。

×月△日

今日はジムのあとで買い物に付き合うことに。鈴井さんの運動関連の買い物をした

後、原宿をブラブラした。

杏が気に入ったものを買に行つて2人きりになったとき、鈴井さんからお礼を言われた。鴨志田の件かと思つたけど、鈴井さんと杏に付き合つてくれていることにだつた。

鴨志田に襲われかけたあと、男に対しての恐怖心が強くなつたらしく、今回のそれのリハビリも兼ねていたとか。これをする事自体が鈴井さんに対する手伝いっていうのはそういうことだったのか。：あれ、書いてて思つたけど、自分に対しては大丈夫だったのかな？

こちらでもケアとかでお世話になつていたし、こちらこそありがとうと伝えたら「それじゃあお互い様で」と笑顔で言われ、信頼を感じた。

そのあと、鈴井さんから名前呼びでもいいと言われたから即名前呼びに移したらうれしそうに頷いてくれた。

×月□日

ジムで解散した後、一人で帰っていると、この前ニアミスしたゴシップ記者と遭遇した。有無を言わさず撮影、志帆の件の取材という名の脅し。そして俺のことと杏のことまで調べ上げてきており、脅しの材料にもしてきた。言い返そうとした瞬間にまた後日

取材に行くと不愉快な笑顔で言い放ち、人ごみの間を縫うように去っていった。

怪盗団のみんなに集まってもらい、満場一致で改心させるのに決まった。のはいいの。志帆本人に聞いて心配させるわけにはいかないし、ゴシップ記者の手掛かりが聞けない。何か手掛かりはないかと思ひ大宅さんに尋ねたところ、すぐに分かった。報道関係でも悪い意味で有名な記者らしく、過去の事件の被害者の心情を無視して質問を重ねたり、むしろ被害者が悪いと言い切りそれを記事にしているらしい。あからさまに炎上目的の記事で、見ているこつちが腹立つ、と大宅さんもボヤいてた。早いところ改心させないと記事が載る可能性もある。決行は明日だ。

×月◆日

メモントスでゴシップ記者のシャドウを倒してから数日たったが、今回の改心もうまくいった。あれから記者の方から、今までの非礼を謝り、今後一切姿を見せない、と志帆の家に電話があったらしい。本当か確認するため大宅さんにそれとなく聞いてみると、大宅さんところの編集部にもあいさつに来たらしい。どうやら海外の貧しい地域へボランティアへ行くとか。

そのことを杏に伝えると、志帆にも伝わり、すぐ自分たちに思い当たったらしく、杏と一緒にルブランで会うことになった。込み入った話なので、自分の部屋で話した。

また助けてくれたというお礼半分、危ないことしないでといったのという心配半分

といった感じが伝わってきたが、最終的には納得してくれて、これまで以上に活動を後押ししてくれることになった。

肩の荷が降りたのもあつてか、話が終わった後に食べたルブランのカレーが気に入ったらしく、おかわりしてた。この前のジムのあとにホイップクリームの誘惑に負けてた杏はそれをうらやましそうにしながらカフェオレを飲んだ。食べればいいのに…。

ランクアップが起こらない時の話・怪盗団編

月
|
日

いつものトレーニングジムへ。今日は杏は仕事らしく、志帆と2人で筋トレした。

終わった後、ビッグバンバーガーで軽く食べつつまったり。出てくる話は杏関連が多く、この前雑誌に載ったことを話してくれた。杏からも志帆の話を聞いており、本当にお互い好きなんだなあと思いつつながら志帆の話を聞いていた。

)月(日

杏のお仕事がなかったため、3人で筋トレ。そのあとに安定のクレープ屋に。杏はいつも通りになやみ、志帆がクレープ増し増しのクレープを食べるのを見て、同じものを頼んでいた。いつも誘惑に負けてるな…とあきれた視線を送ると、志帆が美味しそうに食べるから…と恨みがましい視線を志帆に送っていた。分かる。

→月↓日

今日はいつもの3人に加えて竜司も一緒に筋トレをすることになった。

2人がいつも通りにストレッチするのを見ると、竜司が「ああいうのキマシタワァ……っっていうんだっけ？」と鼻の下を伸ばしていた。違う……とは断言できない。というか誰から聞いたその単語。

あんまり見るとバレそうなのでこっちもストレッチして筋トレへ。元を含めてだけ運動部が2人いたおかげでいつも以上にはかどった気がする。

／月＼日

筋トレが終わって外に出ると散歩してたモルガナに遭遇。撫でながら話しかけると猫じゃねーし！と言いながらのどを鳴らしてうっとりしてた。やっぱり猫やん。と、志帆も撫でたくてうずうずしていた。モルガナを明け渡すともものすごい勢いで撫でまわされていた。モルガナもギニャー！と言って逃れようとしていたけど、志帆が満足するまでしばらく捕まっていた。

←月↑日

筋トレが終わったあと3人で駅近くの喫茶店へ向かっていると、祐介が道行く人を観察していた。こちらに気づいたらしく、片手をあげてこちらに向かってきた。

志帆とはメモントスから出てバレたときに軽くすれ違っただけなので改めて紹介。変人だと伝えるとそうほめるなど返してきた。ほめてないんだが……。そのやり取りを

見て杏は呆れて志帆は苦笑していた。

軽く話していると祐介の腹の音が鳴った。飯は？と聞くと今日はまだだと誇らしげに言っていた。いや誇れることじゃないから。そのまま放置して喫茶店に行けるわけもなく、祐介におごることになった。なお遠慮という言葉を知らない模様。それにつられて志帆と杏、ついでに自分のとつた量も多くなつたことを追記しておく。

○月？日

今日も志帆とのジムで筋トレしようとしたら真からも筋トレの誘いがあつたので合流することになった。

自分と志帆は機具を使つての筋トレだったがけど、真は人体の急所となる部分を中心に木人を殴っていた。筋トレ…？

終わった後はビッグバンバーガーで軽くお茶。どうやら知らないところすでに知り合っていたらしく、そこまで友人の友人といるときの微妙な雰囲気にはならず、体育会系の先輩後輩みたいな感じになっていた。

ところで店員さんがこつちにビッグバンチャレンジのメニューをチラチラ見せてた気がする。こつちみんな。

△月▽日

志帆がPCを買い替えたいということでルブランで相談に乗ることになった。PCということであらかじめ双葉にも意見を聞こうとしたら、約束ノートの訓練の一環として双葉も一緒に出ることに。

初対面ということもありおそるおそる話していた双葉だったけど、志帆がうまいことを引き出しては疑問に思ったことをいいタイミングで質問し、さらに話を引き出していく。話が進むにつれて双葉のPCへのマシンガントークの方が加速してきた。お昼になり双葉にいったんストップをかけてご飯にすることにした。双葉は怪盗団の仲間以外にも話せる人がいることが嬉しかったらしく、カレーを食べながらもアニメとか特撮の話をしていた。志帆はそれを聞きながら相槌を打っていた。杏とはまた違い、一生懸命話す妹とその話をしっかり聞いてあげる姉みみたいな雰囲気になっていた。癒される…。

結局、双葉が予算内でいいPCを組むということになった。志帆のことが相当気に入ったんだろう。

後からなんで聞き上手なのかを聞いたところ、普段杏からファクションとかの専門外の話聞いていたら上手になっただけらしい。なるほどな！。

追記

双葉が組み立てたPCだけど、予算で買えるものから大きくはみ出たスペックになっ

てた。「お古のパーツとかを使ってるからセーフ！」なんだとか。

～月へ日

ジムでケアを教えてもらっている最中にテーピングが切れてしまったので買い出しに出ると春に出会った。どうやら花壇用の肥料の買い出しだったらしくついでに運ぶことにした。

お互い初対面だったけど馬が合つたらしく、ほんわかとした雰囲気で料理のことやお菓子のことを話していた。2人とも雰囲気柔らかいせいに見えるだけで癒された。学校まで運び終えると休憩がてらコーヒーとお菓子をふるまってくれた。「試作で作ったものだけど…」とかしこまっていたけど、美味しかった。

それからはさらに料理やお菓子のことがさらに加速し、しまいには料理を作る約束をしてお互いの連絡先を交換していた。

別冊

△月○日（原宿在住の銀髪）

△月○日

公園で散歩していたら、暗めの紫の毛並みと頭頂部に赤いたてがみという見たことのない大型犬を連れてた人、甲斐利那さんと知り合った。犬？のクールに吠えられて利那さんに謝られたのがきっかけで少し話したんだけど、ところどころで何か探っているような感じが。途中からはそんなそんな様子もなくなり、普通に話しかけてくれたけど。昔から原宿に住んでいるが、遠出することが多いらしい。主に探検家みたいなことをしているんだとか。ある程度話して別れたけど、帰り際に意味深なことをいって帰っていったのが気になるな……。まあ、連絡先は交換したし、今度意味を聞いてみようかな？

しかし、利那さんの声、誰かに似ているような……。

追記：CMでりせちー見て思い出した。花村さんだ。

△月×日

利那さんと飯を食べに原宿へ。利那さんだけかと思ったら待ち合わせ場所にはもう

一人、刹那さんと同じぐらいの年齢の女性が。

要未来さん。すぐおしとやかそうだけど、実は活発なんだとか。そのことを教えてくれた刹那さんはものすごい勢いで足を踏まれ、悶絶してた。未来さんから何か言ったかしら？といい笑顔付きで。刹那さん…。

立ち話もそこに近くのお店へ。カップルというよりは兄妹：姉弟？みたいなやり取りをしているから幼馴染かどうかを聞いてみたらどうやらそうらしい。力関係的には姉弟っぽいけど。ご飯食べた後は未来さんから何やら意味深なことを聞かれた。例えば、身の回りに何か起きていないかとか、何か抱えていることがないかとか。身に覚えがありすぎるけどなんとかポーカーフェイスで堪えていたら、どうやら冗談で聞いできたらしい。いいリアクションするからつい楽しいなってきたんだとか。いや、冗談には全く聞こえなかったんですけど。しかもポーカーフェイス見破られてるし…。

お店を出て別れる間際、未来さんから「何かあったら力になるから」と連絡先を渡された。これはやっぱり秘密あるのバレてるなあ…。

「会ってみてどうだった？」

「セツナの言う通り、何かしらの力は持っていそう。ただ、デビチル絡みではないわ」
「だよな。最近で起きはじめていることといえは…」

「心神喪失事件の方。かと思っただけど、どうもそっちじゃない気がするわ」

「そしたら心の怪盗団、か」

「うん。だから、何かあつたら手助けしないとね」

「しかしこの年になってもデビチルかあ…」

「チルドレンって年でもないんだけどね…」

〳月〵日〳（東京在住のウサミミたち）

〳月〵日

電車を待つっていると、ウサミミ（つぼくみえる長い布がついた）パーカーを着た人を見かけた。あんまりじろじろ見るのも失礼だしすぐに目をそらしたが、都会でもすごく目立つパーカーだった。ただ、それ以上に不思議な雰囲気を持った人だった。なんか似たような雰囲気を感じた気がするけど……誰だったけな。

%月一日

街に出歩いていると、この前のウサミミパーカーの人……久世響希さんと知り合いになった。どうやらこの前見かけたとき、久世さんもこつちを気になつたらしく、今日また見かけたから声をかけたのだからか。……こつちも気づいたんだけど、デート中つぼかつたからそのままスルーしようとしたら、まさか久世さんから声をかけてくるとは思わなかった。本当はもう一人、残念な友人（久世さん談）と3人で遊ぶ予定だったけれど寝坊したらしく、二人で先に出てきたらしい。なるほどな。

それからその友人を待つのもかねてそのまま2人と近くの喫茶店で話すことになった。高校の話とか受験の話とか。話しているうちに、久世さんと新田さんの絆がすごく

強く結ばれている気がした。彼氏彼女ってわけではなさそうだけど、戦友というかそんな感じだった。：久世さんの方は。新田さんの方はね、うん。見てたら分かる。甘酸っぱい雰囲気すごい。コーヒーがいい緩和剤になって：ないな。甘さと苦さが中和されて酸っぱさしか残ってない。

それからいろいろ話していると、残念な友人：志島大地さんが来た。久世さんが残念を強調して紹介すると志島さんが「残念ってなんで!？」といいリアクションをとつてくれた。

3人が揃ったのでお暇しようとする、このまま一緒に遊ばない?と久世さんが誘ってきた。残りの2人も笑顔で承諾してくれたから、そのまま遊ぶことに。楽しい時間だった。

話の流れでルブランに住んでいることを伝えると今度遊びに来てくれるらしい。

%月%日

今度つて次の日に来るとは思わなかったですよ、久世さん。ちなみに今日は別の友人と来てくれた。鳥居さんと和久井さん。2人とも大阪から来たらしく、観光している最中に久世さんがルブランに案内したんだとか。

鳥居さんは初対面で茶わん蒸しをくれた。どこから取り出したかわからなかったけ

ど、2人ともツツコミを入れないところを見ると通常営業らしい。あと懐からジュンゴという猫を取り出した時はさすがに驚いた。とりあえずモルガナと遊ばせておいた。

和久井さんは48の漬すぞを使い分けるツンデレ（久世さんと鳥居さん談）らしく、2人に漬すぞと凄んでいたけど2人ともどこ吹く風だった。

あ、あと久世さんがルブランのカレーが気に入ったらしく、通ってくれるらしい。実は生活圏内だとか。

十月#日

久世さんが別の友人と来てくれた。秋江さんと栗木さん。どちらも大人なんだけど、この二人も独特な人だった。秋江さんは初対面なのに久しぶりと声をかけてきたりするほどのテキトーだし、栗木さんは暑苦し熱血っぽいだけかと思っただけど、オーバリーアクションだし。カレー食べた時のリアクションでももりに出た時の剣弥代を思い出した。口から変な光出した（ように見えた）時はさすがに笑うのを抑えられなかった。どちらもいい人っぽいのはわかるんだけど、わざわざ独特な人選んで連れてきてない？と思って聞いたけど、特にそんなことはないらしい。ただ単に久世さんの友達が濃いのか。

11月#日

峰津院大和さんと都さん、その保護者？の迫さんが久世さんと来た。

大和さんと都さんは双子っぽい感じ。最初は高圧的な感じがしたけど、話してみるとただ単に浮世離れしているのがよく分かった。ただ単にで済む話じゃないと思うけど、久世さんの友人だからしょうがない。カレーをそんなに口にする機会がないらしいけど、かなり気に入ってくれた様子。コーヒーにこんな合うとは…と喜んでくれた。

迫さんという久世さんの友人にしてはかなり常識人だった。苦労人ポジションでもあるらしく、峰津院兄妹のフォローをしながら久世さんのいじりを受けていた。お客様、セクハラは厳禁です。大変そうですね…といったら慣れるから大丈夫と苦笑していた。ただ、なんというか、久世さんの方をかなり気にしていたような…。

ちよつと気になったのは惣治郎さんが峰津院の名字にしきりに首をひねっていたことだ。いやまさかなとか呟いてたけどどうしたんだろう。

*月!日

今日は年上の女性2人と女の子1人、菅野さんと柳谷さんとその姪っ子さんと一緒だった。モテモテですね、と言ったら照れもせずそれほど返された。勝てる気がしない。

菅野さんが職場の研究ばかりで引きこもっているところを柳谷さんが連れ出したらしい。えーとぐずっているところを久世さんを餌にしたそう。菅野さんはなんというか、双葉とはまた違ったマイペースがあった。しかし、なんで菅野さんはコート

下はチャイナ服なんだろう、と思つているとどうやら柳谷さんが面白がつて着せたんだとか。柳谷さん、ナイスです。

柳谷さんは上の通りユーモアもあるけど、話していると優しく、母性のある人だというのが伝わってきた。姪っ子さんも気安く接している。迫さんも来たことあるのを聞くと、迫さんの久世さんに対する態度のことを話してくれた。からかいがあるらしい。分かる。

2人とこの前来た峰津院の2人と迫さんは同じ職場らしい。峰津院の2人は同じくらしいの年齢かと思つたけど…。まあ、いろいろあるんだろう。

一月〇日

今日は年上と年下の女の子2人組がルブランに来た。どこかで見たことあるなと思つていると、最近急上昇中のアイドルとTVで紹介されてた2人だった。確かアイヒナ：だったかな。なんでこの店に？と驚いている矢先に久世さんと新田さん、志島さんが店に来た。いつものようにあいさつすると、さらつと2人と同じ席に着いた。アイドル2人は久世さんたちと待ち合わせしていたらしい。年上の痴女っぽい人は九条さんで、中学生にも見えたのは1個下の伴ちゃん。

仕事で東京に来たついでに久世さんたちに会いに来たのとか。独特な友人が多いと思つたけどアイドルにも友人がいるとは…。

話を聞いていると本当に仲いい。久世さんが伴ちゃんをいじり、九条さんがちやちやを入れ、伴ちゃんがキレて、志島さんが八つ当たりされて、新田さんがわたわた。特に久世さんが伴ちゃんに対して兄ムーブしてるのは面白かった。それに対して伴ちゃんが半ギレしていた。あれは多分、兄妹扱いされるのが嫌なんだろう。いい意味で。もげろ。

追記

電話でりせさんとりせさんの近くにいたかなみさんに話を聞いたところ、名前は聞いたことあるけど実際にあつたことはないとのこと。ひらめいた。

：月一日

珍しく久世さん一人で店に来た。久世さんがカレーを食べてコーヒーで一服していると、獅童がテレビに出ていた。大層なこと言ってるけど、本性を知っていると茶番をしているようにしか見えない。そう思いながらテレビを見ていると顔に出ていたらしく、どうしたの？と久世さんに心配された。獅童の名前をぼやかしつつ、自分がここにいる理由を話すと、君はどうしたい？と聞かれた。答えはすでに出ているので、答えると、笑顔で頷いてくれた。何かあつたら手伝うから遠慮しないで、とも言ってくれた。その時はお願いします。

十月↑日

なんか赤と黒のサイケデリックな服を着た人が来た。アルサーヌっぽいカラーリングと思ったのは内緒だ。どうやら久世さんの友達らしく、カレーのことを聞いてここに来たのだから。カレーを食べけると、頑張つてねと自分に声をかけて帰つていった。久世さんには珍しく普通の友達だったな。ただ、なんだろう。ベルベツトルームの住人と似てるようなそうでないような雰囲気だった。

「久世、彼と獅童についてなんだが…」

「ありがとう、マコトさん。どうだった？」

「局長にも手伝つてもらつてやつとで分かった。彼が起こしたとされている事件だが、彼の言った通り、彼には問題はなかった。冤罪だったよ。ただ、その事件に圧力がかつていた。そのとき事情聴取されていたのが…獅童正義だった。どうする？」

「…こつちからはどうにもしない、かな。彼の眼は死んでいない。何かしら行動を起こすと思うよ。その時には援護しよう。…ふふっ」

「どうした？」

「彼にその冤罪についてどうしたいか聞いたんだ。そしたら、自分たちに似た答えだつ

た。それっぽく言うんだったら…『生きるとは、抗うこと』かな」